

英ブリストル近況報告 小西 亜季

R財団奨学生

小西 亜季



ご無沙汰しております。小西亜季です。

天皇陛下のご即位の式典、ラグビーワールドカップなど日本では様々な行事が続いていたと思いますが、今は少し落ち着いたところでしょうか。

9月中旬の到着からすでに約2か月がたち、今週は第1学期の折り返しの週でした。すでに最高気温が8～9度、最低気温2～4度という日本の冬並みの気温ですが、まだ特に支障はありません。いろいろと新しい学びが多く大変刺激的な日々を過ごしています。この間、いくつかロータリーのイベントにも参加させていただきましたので、簡単にご紹介いたします。

1 カウンセラーのLeighさんとの交流

ブリストルRCで私のカウンセラーを務めて下さっているLeighさんは、到着以降、毎週一度はかならず時間をとって下さって、カフェなどでお会いしています。困ったことはないか、悩んでいる事はないか、それとなくお話を聞いて下さいます。飾らないお人柄で、大変よくして頂いています。Leighさんのご主人Timさんが、今年度ブリストルRCの会長をお務めです。先日初めてお宅にもお邪魔させて頂きました。

2 ブリストルロータリークラブの例会

9月23日に初めて夜の例会に参加させていただきました。市街地のThe Bristol Hotel が会場で、19時～21時ころまで、参加者は20人くらいでした。

卓話では、教師であるLeighさんのお嬢さんがデジタル教育プログラム「The idea」 (<https://idea.org.uk/>) についてプレゼンをされました。無料のオンライン学習素材で、コーディングやプログラミング等の職業訓練的なコースから、小中学生向けのネット利用に関するコース（例えば自分の設定したオンラインパスワードはどの位ハッキングされにくいかな？）まで、無料で学べます。そしてすべてのコースを修了すると、ロイヤルファミリーからの修了証がもらえる（！）というものです。このプログラムを利用して、小中学校でも、ネットリテラシーに関する授業が行われているとのこと。

当日は、ブリストルにあるUniversity of West England に留学中のスリランカ人研究者、娘さんが今年からブリストル大学に入学されたというインドのクラブの会長さん、フィアンセがタイのクラブの元会長で自身が今年からブリストル大学に入学したタイの学生さん、私、と国際色豊かな例会となりました。タイの学生さんとは、例会後も時々食事をしています。

3 オリエンテーションinロンドン

9月28日に、イギリスで学ぶグローバル補助金奨学生がロンドンに集まりました。1日かけて留学生同士交流し、イギリスおよびアイルランドのRCの活動について知るという企画です。60人程度は参加していたと思います。日本とアメリカの学生が圧倒的多数を占め、その他、韓国、オーストラリア、カナダ、セルビア、ネパール、台湾等から各1名程度、という構成です。2770地区の奨学生・江田慶子さんにも再会いたしました。江田さんはイギリス南部のEast Anglia大学に入学されたとのことでした。

印象的だったのはセルビアからの留学生の研究テーマです。心理学専攻と聞き、初めはロータリーの重点課題とリンクしないのでは？と思ったのですが、自分とは異なるコミュニティーに属する他人を、人はどのように捉える（認知する）のか？という研究で大変興味深かったです。

セルビア出身という彼女のバックグラウンドとも相まって、遠くない過去に内戦を経験した自国の歴史を乗り越えて、よりよい未来を目指そうとする彼女の強い意志に感銘を受けました。

4 世界ポリオデーに合わせた啓発活動

10月20日、21日に、ブリストルの複数のクラブが合同で行ったポリオ撲滅啓発活動に参加させていただきました。ポリオ患者に使われていた「鉄の肺」(<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%89%84%E3%81%AE%E8%82%BA>)のレプリカを、総合病院の軒先で展示し、道行く人にポリオ撲滅の活動について説明するものです。医学生や病院に見舞いに来られた方など、複数の人が足を止めて説明に耳を傾けていらっしゃいました。

Leighさんが小学生だったころは、どのクラスにも一人くらいはポリオにかかたクラスメイトがいた、といったこととお話されており、印象に残っています。当日の写真を添付します。

5 ブラッドフォード大学での

平和フェローの研究発表会

平和フェローを抱えるブラッドフォード大学はブリストルから車で4時間ほど北にあります。

10月25日～26日にブラッドフォードで学ぶ平和フェローの皆さんの研究発表会があり、私もLeighさんご夫妻に連れて行ってもらいました。

昨年9月から今年の12月までの約15か月のプログラムで、残すは修士論文のみ、というこの時期に1年間の集大成として発表の機会が設けられているようです。宮越きよみさんという日本人が平和フェローとして留学されており、滞在中は宮越さんの寮に泊めていただきました。宮越さんは留学前に日本のNGOスタッフとして、トルコの難民キャンプで活動されていたご経験をおもちで、トルコ人のシリア難民に対する認知、というテーマを研究されています。

私のカウンセラーのLeighさんは「これまで発表会の存在を知らなかった、もっと広報した方がよい」といった指摘をされていました。そして、参加されたロータリアンたちは、口々に、平和フェローを通して、自分たちの寄付が世界の「平和」に寄与していることを実感できた、という趣旨の感想を述べられていました。

発表会のプログラムと、発表会に参加されたブリストルRCの皆さんとの写真を添付します。



6 President Nightへの参加

そして、今日11月8日は、ブリストルRC President Nightに参加させて頂きました。クラブ会長主催のディナーで、ブリストルRCの属する1100地区の女性ガバナーもいらっしゃっていました。同じテーブルのロータリアンと、ラグビーワールドカップのことや方言のこと、様々な話題で盛り上がりました。

あるロータリアンから、日本では伝統文化（歌舞伎や茶道）がしっかり守られている一方で、漫画やアニメなど伝統文化とは「かけ離れた」ポップカルチャーも盛り上がっているのは何故か、と質問され絶句してしまいました。

7 その他(ロータリー以外)

何人かのクラスメイトと「International Night」と称して週に一度程度集まって食事をしていました。各国の料理や文化を紹介する名目でお酒を飲むだけなのですが。私がホストを務めたJapanese Nightでは、生姜焼き、ちらしずし、お好み焼きをふるまい、(失敗作だったのですが)皆さん美味しいと言って食べてくださいました(一安心) Stay Connected(つながりを保つこと)の重要性を実感しています。

上記のように振り返ると、ロータリーの活動に混ぜていただいていることで、生活にも張り合いがでて、また、ロータリアンとの交流がこちらの生活や言語に触れる大変良い機会となっています。「Say "Yes" to everything」というのを目標に、これからも様々な体験をしたいと思えます。(お勉強も頑張ります。) 小西亜季